

庭中の牛麦が花を詠む歌一首

四〇七〇番

一本ひとぽんの なでしこなでしこ植うゑし その心こころ 誰たれに見みせむ
と 思おもひそめけむ

四〇七一番

しなざかる 越こしの君きみらと かくしこそ 柳やなぎかづ
らき 楽たのしく遊あそばめ

四〇七二番

ぬばたまの 夜渡よわたる月つきを 幾夜いくよ経ふと 数よみつつ妹いも
は 我待われまつらむそ